

# 『想像力』から『創造力』へ キャップ・容器関連装置の シェアNo.1を誇る先駆的メーカー

平賀機械工業

平賀機械工業（大田区大森中、平賀淳夫社長、03・3762・8481）は、食品・飲料・薬品・洗剤などの日用品で使われているキャップ・容器関連の製造装置の専門メーカーである。



源内の創造術・志を受け継ぐ  
平賀淳夫社長

昭和26年9月、工作機械の修理・改造を主業に個人事業として創業。現在では装置の受注は何でも引き受け、発泡スチロール魚箱周囲のテープ巻き機や点滴パックのゴムパッキン挿入機など、多分野で積極的に営業展開を行っている。さらに産業界の合理化・省力化・グローバル化の要請に応え続け、カップ麺充填シール機や各種包装機械を開発したり、高度なハイテクマシンの分野にも参入し、半導体製造ラインやガラス基板・有機EL基盤製造ラインの製作までも手がけるようになった。そして、食品用ボトル・ビン・缶のキャップ関連装置においては国内4分の1の高シェア、マヨネーズキャップでは国内の100%が同社の機械という成長を続けてき

た。

同社のポリシーは常にユーザーサイドに立ち、ニーズを汲み取り、オンリーワンのメカトロニクス装置システムを開発・提案することである。グローバルな感覚を身につけイノベーションを常に考え、信頼の高い精密加工機械と最先端の自動制御装置を組み合わせ、合理化・省力化のための最適な機械と装置を提供することに努める。「江戸時代の発明家として知られる平賀源内の新しいものを生み出す創造術が根底にあり、原動力になつていきます」と平賀社長は語る。コンピュータを使った各種自動制御装置や画像処理装置も合わせて開発するなど、あらゆる業界に装置を納入できる総合的



「想像力」から「創造力」へ… 新しいものを生み出す作業現場

なメカトロニクスメーカーとして、カスタマーサービスの向上に注力し、ユーザーにノウハウを提供するクリエイティブな未来派装置メーカーをめざしている。